

オンラインショッピングモール「永久不滅.com(ドットコム)」  
永久不滅.com  
ドットコム

# 永久不滅ポイントがいつでも2~19倍!

本・CD・DVD、家電、ファッショ、グルメ、美容など、200以上の多彩なジャンルのショップが出店する、《セゾン》カード・UCカード会員限定オンラインショッピングモール「永久不滅.com(ドットコム)」。モールでのショッピングご利用で、永久不滅ポイントがいつでも通常の2~19倍貯まる、おトクなサービスです。

利用料無料!

出店数は  
200店舗  
以上

出店ショップの一例 2007年11月1日現在

×5倍	×3倍	×3倍	×3倍	×6倍	×2倍	×6倍
×3倍	×4倍	×3倍	×3倍	×6倍	×4倍	×11倍
×19倍	×3倍	×8倍	×10倍	×3倍	×11倍	×19倍

※Amazon、Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpのロゴはAmazon.com, Incまたはその関連会社の商標です。

今すぐアクセス!

永久不滅ドットコム

[www.a-q-f.com](http://www.a-q-f.com)

検索

モバイル版は  
こちら!

出店数は20店舗以上!  
<http://aqfmb.com>

学校の成績と  
社会での成績は、  
イコールじゃない。



## 営業の中間ご報告

2007年4月1日～2007年9月30日

<第58期>

SAISON  
CARD  
INTERNATIONAL  
UC  
Credit Saison Co., Ltd.

※永久不滅ポイント対象外カードおよびSAISON MILE CLUB(ショッピングマイルプラン)にご加入の場合は、本サービス対象外となります。※UCコーポレートカードおよびUCインターネットサービス「アットユーネット!」対象外カード(UC法人カード、UC家族カード)は本サービス対象外となります。※加算されたポイントは、《セゾン》インターネットサービス「Netアンサー」またはUCインターネットサービス「アットユーネット!」ログイン後の利用履歴画面よりご確認いただけます。ポイントが加算される時期は原則カード決済後3ヶ月以内となります。※上記は出店ショップの一例です。加算されるポイントは2倍以上となり、ショップにより異なります。詳しくは上記URLにてご確認ください。※「永久不滅.comモバイル版」は、《セゾン》カードのみご利用いただけます。

## 株主の皆様へ

株主の皆様に、当社グループの第58期中間期(2007年4月1日～2007年9月30日)の決算につきまして、ご報告申し上げます。

当社が属するノンバンク業界におきましては、貸金業法改定や、高水準で推移する利息返還請求の影響等により、依然として厳しい経営環境が続くものと予想されます。当社におきましても、法改定に前倒しで対応すべく、キャッシング金利を6月より引き下げたこともあり、前期まで24期継続していた増収増益が途切れる見通しであります。

このような環境のもとで当社は、「存在感あるノンバンクの創造」を経営ビジョンに掲げ、第60期の連結経常利益700億円を目指とする新たな中期経営計画を当期よりスタートいたしました。主力のクレジットカード事業では、引き続き成長が見込まれるショッピングマーケットで30%、今後厳しい環境が予想される無担保消費者ローンマーケットでも5%にシェアを拡大することを中長期的な目標とする一方で、不動産担保ローン、ビジネスローン等をターゲットとして新たなコアビジネスを開発することで事業ポートフォリオを再構築し、次なる成長路線を軌道に乗せることを目指しております。

当中間連結会計期間におきましても、高稼動カードの拡大や営業拠点の再編に注力しつつ、(社)日本女子プロゴルフ協会、山形屋グループ等との新たな提携によるカード発行、(株)山口フィナンシャルグループとの共同出資によるマーケティング会社「ワイエムセゾン(株)」の設立、東京都23区の水道料金をはじめとした決済分野の拡充等により、クレジットカード事業の拡大に努めた結果、当中間期末のカード会員数は2,563万人(前期末比2.9%増)、年間稼動会員数は1,285万人(前期末比2.9%増)となりました。

また、リース事業、信用保証事業、不動産担保ローン事業等、当社単体の非クレジットカード事業、さらには(株)アトリウムを中心とする不動産関連事業をはじめとしたグループ各社の事業分野におきましても、引き続き企業価値向上に向けた取り組みを進めてまいりました。

結果として当中間連結会計期間における業績は、連結営業収益1,773億79百万円(前年同期比7.1%増)、連結経常利益329億75百万円(前年同期比23.6%減)、連結中間純利益122億28百万円となりました。

今後の厳しい経営環境におきましても、当社は「サービス先端企業」の経営理念を堅持し、メガバンク主導で業界再編が進む中で独自の存在感を發揮しつつ、中期経営計画を着実に実行することによって企業価値の最大化を実現し、株主の皆様に報いていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、《セゾン》カードとUCカードのご利用と共に、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## クレディセゾングループの経営理念

私たち「サービス先端企業」として

「顧客満足主義の実践」

「取引先との相互利益の尊重」

「創造的革新の社風創り」

の3点を共通の価値観として浸透させ

競争に打ち勝ち、お客様、株主の皆さま

そしてすべての取引先の皆さまの期待に添うように

チャレンジを続け社会的責任を果たしてまいります。

## CONTENTS

株主の皆様へ	1	中間連結損益計算書	10
第58期中間トピックス	2～5	財務ハイライト(単体)	11
営業の概況(連結)	6	中間単体貸借対照表	12
セグメント別事業概況	7～8	中間単体損益計算書	13
中間連結貸借対照表	9	株式の状況	14
		会社概要	15
		株主優待制度のご案内	16
		株主メモ	16

2007年12月  
代表取締役社長  
林野宏

## 戦略的大型提携の推進

### ●合弁カード会社が新カード発行開始、当社はプロセシング業務を受託

昨年10月に(株)静岡銀行との共同出資により設立した「静銀セゾンカード(株)」は2007年4月より営業を開始し、静岡エリアの地域共通ポイントプログラムをメインサービスとした「ALL-Sカード」を発行しました。

また、昨年11月に大和ハウス工業(株)との共同出資により設立した「大和ハウスフィナンシャル(株)」は2007年5月より営業を開始し、大和ハウスグループが多角的に事業展開する住関連サービスを付加した「ダイワセゾンカード」を発行しました。

当社は両社よりカードのプロセシング業務を受託するとともに、カードローンビジネスのノウハウなども提供してまいります。



### ●高島屋クレジット(株)発行カードのプロセシング業務を受託

2007年3月に高島屋クレジット(株)への出資比率を33.4%に引き上げ、今年度より高島屋クレジット(株)が発行する富裕層向けのゴールドカードをはじめとした全てのカードのプロセシング業務を受託しています。またクレジットカウンターの共同運営も開始しました。



### ●共同出資による合弁マーケティング会社を設立

地域金融機関との合弁会社設立第2弾として、2007年9月に(株)山口フィナンシャルグループ(YMFG)との共同出資で「ワイエムセゾン(株)」を設立しました。

(株)山口銀行[下関]と(株)もみじ銀行[広島]を有する中四国地方最大の金融グループとして、営業地域におけるリテールファイナンス事業の強化を標榜するYMFGおよび新会社ワイエムセゾンとの提携により、地域に密着したエリア最強カード「YM《セゾン》カード」を10月より発行、ビジネスローンの分野にも進出する予定です。



## 新規提携カードの発行

百貨店・鉄道・通信・商業施設など幅広い業界とのアライアンスによる提携カード事業は、収益性を重視したスクラップ&ビルトを進めています。特に新規提携については、提携先を厳選し、お客様に支持される高稼動力カードの創出に努めています。

### 「GE ETC Managerカード」(5月)

GEの法人向け金融サービス部門であり、オートリースを中心とした総合車両管理サービスを提供するGEフリートサービス(株)と提携し、企業向けETCカードを発行。



### 「ヤマカタヤカード」(7月)

鹿児島に本店を置く南九州の大型流通企業「山形屋グループ」との提携カードを発行。



### 「LPGA CLUBカード」(9月)

(社)日本女子プロゴルフ協会(LPGA)のオフィシャルファンクラブ創設に伴い、LPGAとの提携カードを発行。ファンクラブ会員だけに提供するゴルフ関連特典と、ピンクリボン運動への寄付などの機能を付加したカード。



### 「BIG HOPカード」(9月)

千葉県印西市にオープンした大規模商業施設「BIG HOPガーデンモール印西」との提携カードを発行。施設の中にセゾンカウンターも出店。



## 貸金業法改定への対応

### ●キャッシング金利引下げ

2006年12月に公布された貸金業法に基づき、2007年6月11日よりUCカード、7月17日より《セゾン》カードのキャッシング金利を18%以下に引下げました。金利引下げにあたっては、当社の掲げるお客様第一主義に沿って、新規利用分残高と既存残高を区別せず、全てのキャッシング残高を対象としました。

当社はこれまで、段階的にキャッシング金利の引下げを進めてきましたが、新しい貸金業法の時代に対応できる企業体質を作り、事業構造改善を確実に実現させるためにも、早期に金利を引下げたうえで業績の回復を目指すことが、結果として中期的な株主様利益に沿った対応であると考えています。

### ●営業ネットワーク再構築

カードビジネスの収益性改善施策として営業ネットワークの再構築に着手しました。カード獲得においては“量”に加え“質”を重視し、稼動率の低いカードは新規募集や更新を控える一方で、よりサービスの充実したゴールドカードやプラチナカードの種類を増やしました。また、Webを有効活用したカード会員の獲得にも積極的に取り組んでいます。このような営業手法の転換に伴い、全国の営業拠点を統廃合し、営業ネットワークの効率化を図ります。

## 新規ビジネスによるサービス向上と新たな収益源の確保

### ●永久不滅.com

Net会員(Netアンサー会員・@ユーネット会員)専用オンラインショッピングモール「永久不滅.com」には、様々なカテゴリーの約200の有力ECショップが出店しており、月間約10億円の売上をあげています。また、「モバイル版永久不滅.com」や「法人版永久不滅.com」など充実した内容により、このモールを経由してNet会員も拡大し、Net会員数は200万人を突破しました。今後も当社の新規ビジネスとして育成していく予定です。主なショップとポイント倍率につきましては、本冊子裏表紙をご覧ください。

### ●セゾン投信(株)

当社の100%子会社として設立した投資信託委託会社「セゾン投信(株)」は、2007年3月より、オリジナル投資信託を設定し直接販売方式で募集するという画期的なビジネスモデルで投資信託業界に新規参入いたしました。

販売する商品は、世界最大級の投信会社であるザ・バンガードグループ・インクが提供する「インデックスファンド」や、日本における長期投資のパイオニアさわかみ投信(株)が運用する「さわかみファンド」などを投資対象とするファンド・オブ・ファンズ2本です。

募集開始から半年経過し、登録口座数は17,000件を超え、総資産額は100億円を突破いたしました。今後も全国各地でのセミナー等を通じてお客様のニーズを伺いながら、長期運用に相応しい投資信託を「ローコスト」で提供してまいります。



セゾン投信(株)  
代表取締役社長  
中野晴啓(44歳)

1987年西武クレジット(現クレディセゾン)入社。関係会社資金運用部に在籍後、投資顧問事業を立上げ、海外契約資産等の運用助言を行った経歴を持つ。2007年3月より現職。生活者のための長期投資により日本を変える意気込みで事業を進める。

## ファイナンス事業の成長

クレジットカード事業以外のファイナンス事業は2007年度上期も順調に拡大いたしました。

信用保証ビジネスは(株)秋田銀行など新規提携先を確実に拡大し、中間期末残高は約1,390億円となりました。不動産担保融資ビジネスは、不動産マーケットの好況により、引き続き大きく成長し中間期末残高は約2,500億円となりました。2007年度末の単体営業利益に占めるファイナンス事業の貢献利益の割合は、前年の17%を大きく上回る予定です。

## 下期施策

### ●新AMERICAN EXPRESSブランド

新たに「年会費無料」と「ゴールドカード」の2種類の《セゾン》アメリカン・エキスプレス・カードを発行します。商品ラインナップを揃えることで、幅広いお客様に最適なカードをお選びいただけます。年会費無料のアメリカン・エキスプレス提携カードの発行は日本初となります。



### ●郵貯カード《セゾン》の後継商品

郵貯カード《セゾン》の後継商品として、永久不滅ポイントのファミリー合算やオンラインプロテクションなど多彩な特典満載の「セゾンNEXTカード」を発行します。さらに、ゴールドとアメリカン・エキスプレスには年間利用額に応じた年会費特典が付帯されています。

ファミリー合算  
永久不滅ポイントを家族で合算可能

オンラインプロテクション  
オンラインショッピングでの損害を補償

年会費特典  
年間利用額に応じ年会費無料  
(ゴールド/アメリカン・エキスプレス)

### ●(株)キュービタス

当社と(株)みずほ銀行並びにユーシーカード(株)は、クレジット事業におけるプロセシング専門会社を2007年10月1日に設立しました。2008年4月からは当社と(株)みずほ銀行の共同出資により新会社を運営し、SAISON・UC両ブランドカードのほぼ全てのプロセシング業務を受託します。規模拡大と、業務・システムをトータルに運用することで効率性を高め、質量ともに日本最高水準を誇る総合プロセシング体制を構築することを目指します。

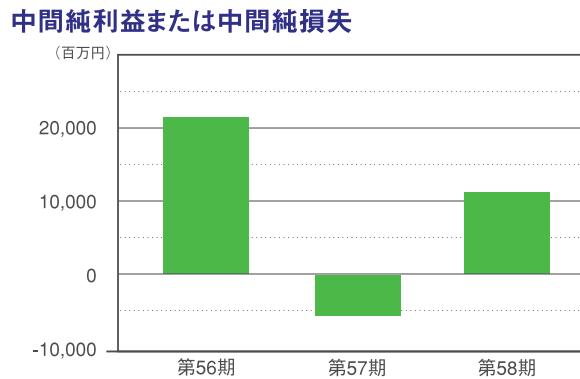
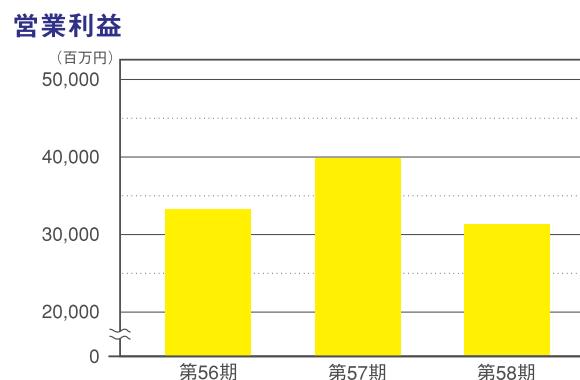
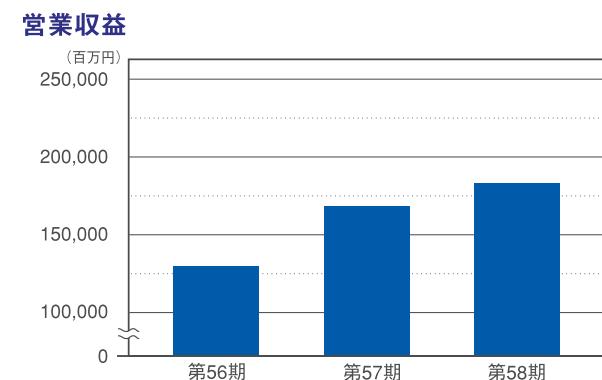
### CIプロモーション(表紙説明)



当社はクレジットカードを「メディア」と位置づけ、カードのイメージ戦略に力を入れています。「希望・夢／No.1／他社との差別化」をコンセプトに、テレビコマーシャルやポスターなどの媒体を活用し、ユニークかつインパクトあるCIプロモーション展開によって、カードブランドの価値向上を目指しています。2007年度のテーマは「実力勝負」、モチーフは「競走馬」。人々の夢を背負い、颯爽とターフを駆け抜ける競走馬の姿は、厳しさを増すノンバンク業界での当社のあるべき姿を示しています。

当中間連結会計期間の営業収益は、前年同期比7.1%増の1,773億79百万円、営業利益は前年同期比19.4%減の321億32百万円、経常利益は前年同期比23.6%減の329億75百万円となりました。また営業ネットワークの再構築に伴い、事業構造改革損失として特別損失を計上したことなどから、中間純利益は122億28百万円となりました。

右記に、セグメント別の事業概況についてご報告いたします。



## ● クレジットサービス事業 [クレジットカード事業、サービサー（債権回収）事業等]

クレジットカード事業におきましては、第58期中間トピックス(P.2~3)に記載させていただいております様々な戦略的大型提携、新規提携カードの発行及び営業ネットワークの再構築を推進するなど、お客様に支持される高稼動カードの創出と収益性の改善に努めました。また、公共料金や携帯電話料金など生活に密着した分野におけるクレジット決済及び電子マネーによる少額決済市場への取り組みも引き続き強化しております。なお、当社は、貸金業法改定に前倒しで対応すべくキャッシングの貸出金利を新規利用分のみならず既存のすべての残高を対象に18.0%以下に引下げております。

サービサー（債権回収）事業におきましては、他業種からの参入もあり、一段と競争が激化しておりますが、カード会社及び金融機関に加えて、新たに官公庁や公共料金収受等の新規分野における営業展開を推進し好調な売上を維持しました。また、適正なコスト管理及び総合的な債権回収力を強化することで、回収額の増加及び利益率の向上を達成し、より生産性の高い業務運営を実現いたしました。

以上の結果、営業収益は前年同期比3.8%増の1,303億41百万円、営業利益は前年同期比31.0%減の179億48百万円となりました。

## ● ファイナンス事業 [信用保証事業、各種ローン事業、リース事業等]

各事業の取扱いが順調に拡大した結果、営業収益は前年同期比27.7%増の220億51百万円、一方で、各種ローン事業における貸倒コストやリース事業における貸倒時に生じるリース資産の処分損失が増加したことなどから、営業利益は前年同期比16.2%減の48億59百万円となりました。

信用保証事業におきましては、提携金融機関と営業・管理両面にわたる密接な連携により、良質な案件の獲得に注力しつつ、新たな業務提携を推進するなど、融資保証の取扱い拡大に努めました。

各種ローン事業におきましては、カード会員向けの「メンバーズローン」をはじめとした各種無担保ローンを個人向けに提供しております。また、これまで不動産流通業を通じて得た、不動産評価能力や不動産流動化に関するノウハウ、ネットワークを活用した不動産担保融資事業の取扱いが順調に推移いたしました。

リース事業におきましては、次年度から適用されるリース会計基準改正の影響等もあり、(社)リース事業協会集計によるリース市場の上期取扱高が前年割れで推移するなか、提携販売店の拡大、取扱商品の多様化を図った結果、取扱高は堅調に推移いたしました。

### ● 不動産関連事業 [不動産流動化事業、サービス事業、不動産ファンド事業、不動産融資保証事業、不動産賃貸事業等]

不動産マーケットの変化に柔軟かつスピーディーに対応できる体制を構築しつつ、「不動産活性化」に取り組んでまいりましたアトリウムグループの好調な業績により、営業収益は前年同期比37.2%増の207億35百万円、営業利益は前年同期比49.9%増の137億74百万円となりました。

不動産流動化事業におきましては、仕入情報ルートの拡大や不動産M&A手法の活用等に努め、順調な物件取得を行うとともに、的確なバリューアップと計画的販売を推進し、サービス事業におきましては、各サービス会社間による仕入競争が激化する中で、特に地域金融機関への営業活動を重点的に進めるとともに、「事業再生案件」への取り組みを着実に強化してまいりました。また、不動産ファンド事業におきましては、保有物件の稼動率向上と安定的な維持による収益性の向上を着実に推進し、不動産融資保証事業におきましては、案件の選別をより厳格化しつつも、好調な融資保証を実行いたしました。

なお、不動産賃貸業におきましては、所有する不動産物件を活用したテナントビル事業のほか、不動産オーナーから一括賃借した不動産物件を運営・管理する不動産サブリース事業を行っております。

### ● エンタテインメント事業 [アミューズメント業等]

アミューズメント業におきましては、地域に支持される健全で安心、快適な店作りを行ってまいりましたが、遊技台への規制強化により、営業収益は前年同期比21.9%減の73億37百万円、営業損失は20億9百万円となりました。

### ● その他の事業 [保険代理店業、情報処理サービス業、損害保険業等]

保険代理店業、情報処理サービス業、損害保険業等から構成されております。営業収益は前年同期比29.8%増の8億19百万円、営業利益は前年同期比54.8%増の4億52百万円となりました。

事業内容	主な関係会社名	
● クレジットサービス事業	ジェーピーエヌ債権回収(株) 出光クレジット(株)* りそなカード(株)* 大和ハウスフィナンシャル(株)*	(株)ローソン・シーエス・カード* ユーシーカード(株)* 静銀セゾンカード(株)* 高島屋クレジット(株)*
● ファイナンス事業	(株)セゾンファンデックス	
● 不動産関連事業	(株)アトリウム (株)ハウスプランニング (株)エー・アイ・シー	(株)アトリウム債権回収サービス (株)ウラクアオヤマ (有)エー・アル・ホテルズ銀座を 営業者とする匿名組合
● エンタテインメント事業	(株)ヴィーゴル	(株)エイ・アンド・エイ
● その他の事業	(株)セゾン情報システムズ*	セゾン自動車火災保険(株)*

無印:連結子会社 \*:持分法適用会社

\*:当間連結会計期間より、(有)エー・アル・ホテルズ銀座を営業者とする匿名組合が新たに連結子会社となっております。

資産の部			負債の部		
科目	金額	増減額	科目	金額	増減額
<b>流動資産</b>			<b>流動負債</b>		
現金及び預金	42,066	△ 13,894	支払手形及び買掛金	226,978	△ 10,283
割賦売掛金	1,739,046	66,141	短期借入金	389,404	7,695
その他営業債権	1,167	635	一年以内に返済予定の長期借入金	57,615	5,086
有価証券	15,000	13,500	一年以内に償還予定の社債	30,275	△ 12,170
たな卸資産	160,856	12,899	コマーシャル・ペーパー	110,000	8,700
繰延税金資産	25,766	6,295	一年以内に償還予定の債権譲渡支払債務	16,334	4,218
短期貸付金	5,901	676	未払法人税等	20,655	△ 15,705
その他	35,420	1,457	賞与引当金	2,380	220
貸倒引当金	△ 72,946	△ 7,739	役員賞与引当金	49	△ 110
<b>流動資産合計</b>	<b>1,952,279</b>	<b>79,972</b>	<b>流動負債合計</b>	<b>920,009</b>	<b>△ 4,113</b>
<b>固定資産</b>			<b>固定負債</b>		
<b>有形固定資産</b>			社債	274,465	41,967
リース資産	165,878	2,771	長期借入金	666,256	46,428
建物	17,244	623	債権譲渡支払債務	26,165	△ 9,718
土地	11,531	—	退職給付引当金	5,923	△ 569
建設仮勘定	1,670	△ 282	役員退職慰労引当金	178	△ 762
その他	12,085	△ 652	保証債務引当金	2,980	437
<b>有形固定資産合計</b>	<b>208,411</b>	<b>2,459</b>	瑕疵保証引当金	42	△ 7
<b>無形固定資産</b>			ポイント交換引当金	39,654	3,449
借地権	970	—	利息返還損失引当金	36,135	1,478
ソフトウェア	37,217	1,295	負ののれん	429	321
その他	5,697	1,541	その他	8,450	1,998
<b>無形固定資産合計</b>	<b>43,885</b>	<b>2,836</b>	<b>固定負債合計</b>	<b>1,060,679</b>	<b>85,023</b>
<b>投資その他の資産</b>			<b>負債合計</b>	<b>1,980,688</b>	<b>80,909</b>
投資有価証券	107,351	1,077	<b>純資産の部</b>		
長期貸付金	28,532	△ 807	<b>科目</b>	<b>金額</b>	<b>増減額</b>
差入保証金	8,587	156	<b>株主資本</b>		
繰延税金資産	34,746	2,905	資本金	75,640	409
その他	8,096	△ 1,558	資本剰余金	81,286	409
貸倒引当金	△ 4,714	652	利益剰余金	211,327	7,197
投資損失引当金	△ 381	—	自己株式	△ 6,058	△ 11
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>182,219</b>	<b>2,425</b>	<b>株主資本合計</b>	<b>362,195</b>	<b>8,005</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>434,516</b>	<b>7,721</b>	<b>評価・換算差額等</b>		
<b>繰延資産</b>			その他有価証券評価差額金	15,376	△ 3,775
社債発行費	702	196	繰延ヘッジ損益	△ 64	118
<b>繰延資産合計</b>	<b>702</b>	<b>196</b>	<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>15,311</b>	<b>△ 3,657</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,387,497</b>	<b>87,890</b>	<b>少數株主持分</b>	<b>29,301</b>	<b>2,632</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>406,809</b>	<b>6,980</b>
			<b>負債及び純資産合計</b>	<b>2,387,497</b>	<b>87,890</b>

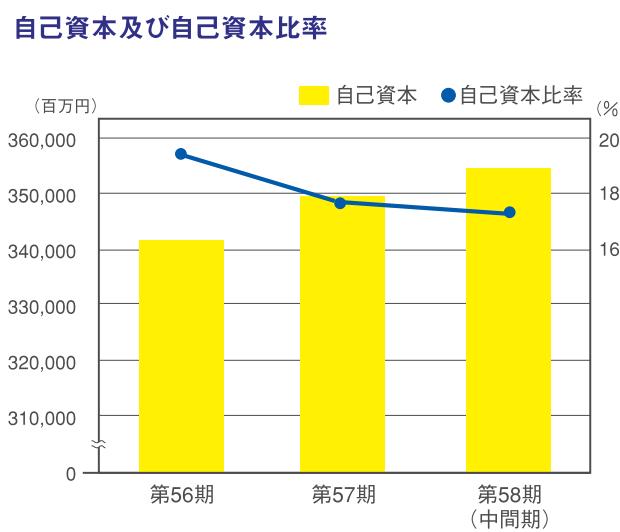
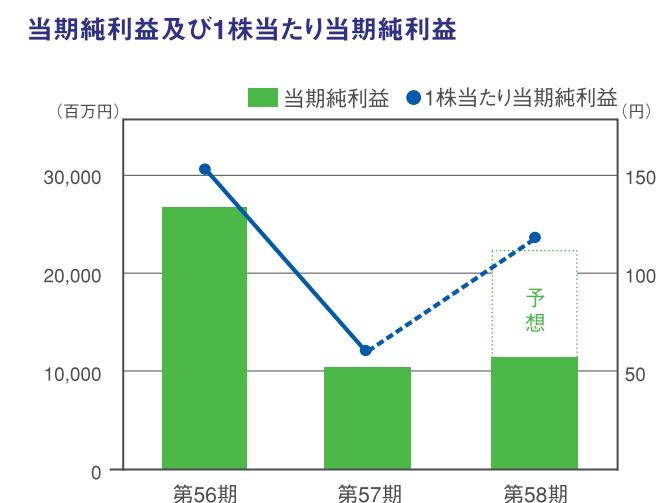
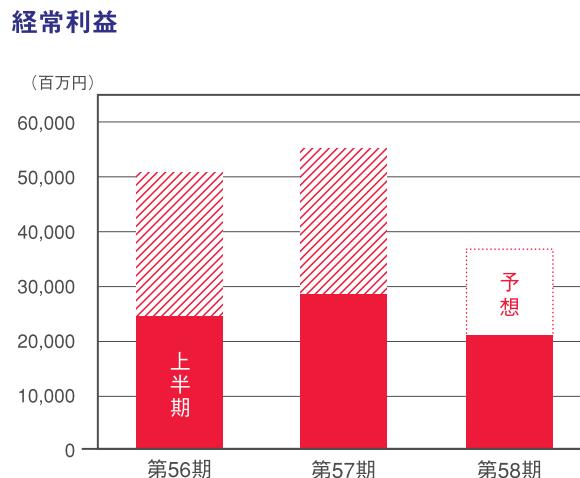
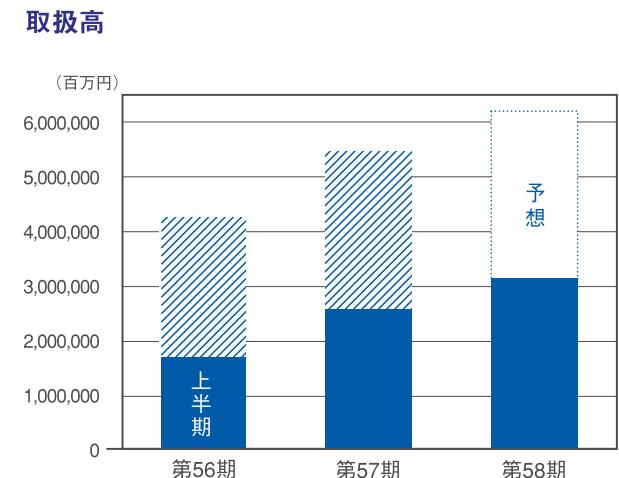
(注1)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2)増減額は、2007年3月31日現在の残高との比較になります。

(2007年4月1日～2007年9月30日／単位：百万円)

科目	金額	前期比(%)
営業収益		
クレジットサービス事業収益	125,444	
ファイナンス事業利益		
ファイナンス事業収益	55,114	
ファイナンス事業原価	33,597	
不動産関連事業利益		
不動産関連事業収益	62,737	
不動産関連事業原価	45,424	
エンタテインメント事業利益		
エンタテインメント事業収益	58,718	
エンタテインメント事業原価	51,395	
その他の事業利益		
その他の事業収益	819	
その他の事業原価	—	
金融収益		
金融収益	819	
金融原価	4,962	
営業収益合計	177,379	107.1
営業費用		
販売費及び一般管理費	134,695	
金融費用	10,551	
営業費用合計	145,247	115.5
営業利益	32,132	80.6
営業外収益	2,139	
営業外費用	1,296	
経常利益	32,975	76.4
特別利益		
投資有価証券償還益	1,390	
投資有価証券売却益	324	
その他	26	
特別利益合計	1,741	
特別損失		
事業構造改革損失	2,440	
投資有価証券評価損	1,632	
減損損失	449	
固定資産処分損	190	
商品券回収損失引当金繰入額	111	
持分変動損失	66	
投資有価証券売却損	4	
その他	47	
特別損失合計	4,943	
税金等調整前中間純利益	29,772	—
法人税、住民税及び事業税	19,779	
法人税等調整額	△ 6,037	
少数株主利益	3,803	
中間純利益	12,228	—

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 中間単体貸借対照表

# 中間単体損益計算書

(2007年9月30日現在／単位:百万円)

資産の部			負債の部		
科目	金額	増減額	科目	金額	増減額
<b>流動資産</b>			<b>流動負債</b>		
現金及び預金	30,286	△ 10,898	支払手形	2,563	318
割賦売掛金	1,590,236	62,443	買掛金	223,115	△ 10,380
有価証券	15,000	15,000	短期借入金	290,252	10,987
たな卸資産	1,911	6	一年以内に返済予定の長期借入金	36,550	△ 3,650
短期貸付金	2,999	△ 2,001	一年以内に償還予定の社債	20,000	△ 10,000
その他	47,095	4,697	コマーシャル・ペーパー	100,000	3,000
貸倒引当金	△ 62,994	△ 6,555	一年以内に償還予定の債権譲渡支払債務	16,334	4,218
<b>流動資産合計</b>	<b>1,624,535</b>	<b>62,692</b>	未払法人税等	11,385	△ 17,192
<b>固定資産</b>			賞与引当金	1,708	△ 3
<b>有形固定資産</b>			役員賞与引当金	39	△ 120
リース資産	165,924	2,775	利息返還損失引当金	11,212	1,050
建物	5,317	△ 869	事業構造改革損失引当金	1,624	1,624
器具備品	7,253	△ 688	商品券回収損失引当金	108	108
土地	3,642	-	割賦利益繰延	5,399	273
その他	538	19	その他	39,491	5,507
<b>有形固定資産合計</b>	<b>182,676</b>	<b>1,236</b>	<b>流動負債合計</b>	<b>759,785</b>	<b>△ 14,258</b>
<b>無形固定資産合計</b>	<b>41,108</b>	<b>2,780</b>	<b>固定負債</b>		
<b>投資その他の資産</b>			社債	260,000	40,000
投資有価証券	112,567	△ 6,989	長期借入金	541,970	36,300
出資金	75	23	債権譲渡支払債務	26,165	△ 9,718
長期貸付金	33,223	-	退職給付引当金	5,268	△ 396
差入保証金	2,883	4	役員退職慰労引当金	-	△ 715
その他	35,753	4,248	保証債務引当金	2,975	438
貸倒引当金	△ 4,350	△ 226	ポイント交換引当金	39,654	3,449
投資損失引当金	△ 2,054	-	利息返還損失引当金	31,810	1,449
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>178,099</b>	<b>△ 2,938</b>	負ののれん	304	304
<b>固定資産合計</b>	<b>401,884</b>	<b>1,077</b>	<b>その他</b>	<b>4,143</b>	<b>1,983</b>
<b>繰延資産</b>			<b>固定負債合計</b>	<b>912,291</b>	<b>73,093</b>
社債発行費	528	181	<b>負債合計</b>	<b>1,672,076</b>	<b>58,835</b>
<b>繰延資産合計</b>	<b>528</b>	<b>181</b>	<b>純資産の部</b>		
<b>資産合計</b>	<b>2,026,948</b>	<b>63,952</b>	<b>科目</b>	<b>金額</b>	<b>増減額</b>
			<b>株主資本</b>		
			資本金	75,640	409
			資本剰余金	80,940	409
			資本準備金	79,044	409
			その他資本剰余金	1,896	-
			利益剰余金	188,933	7,724
			利益準備金	3,020	-
			その他利益剰余金	185,913	7,724
			別途積立金	162,455	5,000
			繰越利益剰余金	23,458	2,724
			自己株式	△ 5,580	△ 3
			<b>株主資本合計</b>	<b>339,933</b>	<b>8,540</b>
			<b>評価・換算差額等</b>		
			その他有価証券評価差額金	15,002	△ 3,402
			繰延ヘッジ損益	△ 64	△ 21
			<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>14,937</b>	<b>△ 3,423</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>354,871</b>	<b>5,117</b>
			<b>負債及び純資産合計</b>	<b>2,026,948</b>	<b>63,952</b>

(注1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 増減額は、2007年3月31日現在の残高との比較になります。

(2007年4月1日～2007年9月30日／単位:百万円)

科目	金額	前期比(%)
<b>営業収益</b>		
クレジットサービス事業収益	53,414	
総合あっせん収益	275	
個品あっせん収益	53,032	117,325
カードキャッシング収益	7,444	
業務代行収益	3,158	
その他の収益	3,259	17,788
ファイナンス事業利益	3,448	
信用保証収益	11,079	
各種ローン収益	36,868	
リース売上高	33,608	
リース売上原価	3,259	
リース売上利益	819	819
不動産関連事業損失	260	△ 11
不動産関連事業収益	272	
不動産関連事業原価	-	
その他の事業利益	-	
その他の事業収益	-	
その他の事業原価	-	
金融収益	4,953	
<b>営業収益合計</b>	<b>140,875</b>	<b>106.9</b>
<b>営業費用</b>		
販売費及び一般管理費	113,021	
金融費用		
支払利息	8,278	
その他	1,037	9,315
<b>営業費用合計</b>	<b>122,336</b>	<b>115.8</b>
<b>営業利益</b>	<b>18,538</b>	<b>70.9</b>
<b>営業外収益</b>		
	2,263	
<b>営業外費用</b>		
	72	
<b>経常利益</b>	<b>20,728</b>	<b>70.6</b>
<b>特別利益</b>		
	1,731	
<b>特別損失</b>		
	4,260	
<b>税引前中間純利益</b>	<b>18,199</b>	<b>-</b>
法人税、住民税及び事業税	10,540	
法人税等調整額	△ 5,100	
<b>中間純利益</b>	<b>12,758</b>	<b>-</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

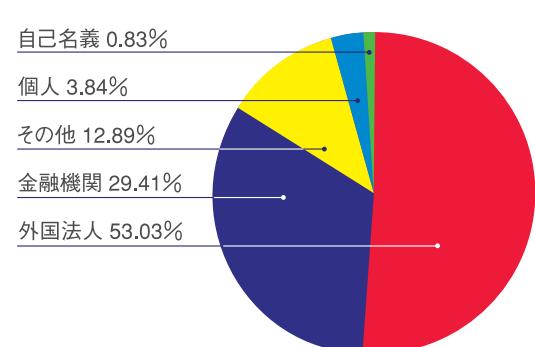
- 発行可能株式総数 300,000,000株
- 発行済株式の総数 181,609,225株
- 株主数 9,931名

#### ● 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	120,123	6.61
(株)西武百貨店	116,000	6.39
日本マスター・トラスト信託銀行(株)(信託口)	104,983	5.78
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	98,222	5.41
メロンバシクエヌエーティークライアントオムニバス	55,077	3.03
(株)みずほ銀行	50,931	2.80
(株)みずほコーポレート銀行	46,755	2.57
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	43,995	2.42
江ーピーモルガン・チースオツベンハマーファンズ・ジャステックアカウト	42,934	2.36
ローバクスエーエスエージェントフォーライツケイアトロムコバユースペクション	40,352	2.22

(単位:百株、%)

#### ● 所有者別株式分布状況



#### ● 株価推移



- 商号 株式会社クレディセゾン
- 英文表記 Credit Saison Co.,Ltd.
- 設立 1951年5月1日
- 資本金 75,640,640,408円
- 従業員数 2,628名 (1,891名)

注1:( )内は嘱託、パート及びアルバイトの期中平均雇用人員  
注2:当中間会計期間において専門職社員制度を導入したことに伴い、従来、臨時従業員に含めていた契約社員の一部が専門職社員に雇用形態を変更したため、従業員数が増加しております。

#### ● 営業目的

- ① 割賦購入あっせん(クレジットカード等による信用販売)、融資、リース、保証、保険の業務
- ② 資産運用、投資に係わる総合コンサルティング業
- ③ 不動産賃貸、不動産販売
- ④ 情報処理サービス、その他

#### ● 本社

〒170-6073 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60・52F  
Tel.03-3988-2111(代表)  
ホームページ: <http://www.saisoncard.co.jp>

#### ● 役員

代表取締役社長	林野 宏	常勤監査役	佐藤 浩通
代表取締役副社長	前川 輝之	常勤監査役	櫻井 勝
代表取締役専務	山本 敏晴	常勤監査役	富澤 宏
専務取締役	宮内 秀機	常勤監査役	松本 康太郎
常務取締役	鈴木 秀敏	監査役	土岐 敦司
常務取締役	稻田 和房		
常務取締役	高橋 直樹		
常務取締役	山本 光介		
取締役	多田 憲三		
取締役	山路 孝眞		
取締役	横井 千香子		
取締役	鈴木 日出男		
取締役	金 洪太		
取締役	山本 寛		
取締役	山本 恵朗		
取締役	梅野 恭輔		

# 『株主優待制度』のご案内

## ●株主の皆様へ永久不滅ポイントを進呈いたします。

3月末日時点当社株主で、当社カード会員の方に、持株数に応じて永久不滅ポイントを毎年1回、8月中旬に進呈いたします。

※一部永久不滅ポイントの対象とならないカードがございます。

持 株 数	進呈ポイント数
100株～500株未満	500ポイント
500株～1,000株未満	1,000ポイント
1,000株以上	1,500ポイント

永久不滅ポイントにつきましては右のページをご覧ください。

●株主優待制度に関するお問い合わせ：株式会社セゾン 総務部 ☎ 03-3988-2111 (受付時間／平日 9:00～17:45 土・日・祝日休み)

## 株主メモ

- 事業年度 每年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 每年6月開催
- 基準日 定時株主総会権利行使株主確定日 3月31日  
期末配当金受領株主確定日 3月31日  
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社証券代行部
- 郵便物送付及び電話照会先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社証券代行部  
住所変更等用紙のご請求 ☎ 0120-175-417(自動音声応答)  
その他のご照会 ☎ 0120-176-417(9:00～17:00、土・日・祝日休み)
- ホームページ <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 同取次所 住友信託銀行株式会社本店及び全国各支店
- 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞

貯めつづけて新しい実りに出会う  
あなただけの感動を。

ポイント無期限、豪華アイテムと交換。永久不滅ポイント

最大の特長はポイントに有効期限がないこと。毎日のお買物をはじめ、月々のお支払いから海外旅行でのショッピングまで、さまざまなお支払いで貯まります。貯まったポイントは350以上の豪華アイテムと交換。プライベートジェットで行くハワイなど夢の企画から洗練された小物まで、世界中から多彩にラインナップしたアイテムの中からほんの一例をご紹介します。



※写真は永久不滅ポイントアイテムカタログのアイテムの一例です。

350を超える豪華アイテムが満載の「永久不滅ポイント アイテムカタログ」をご用意しております。下記ホームページから、ぜひお取り寄せください。  
— 全国のセゾンカウンターでもご用意しております。 —

アイテムカタログお取り寄せ

永久不滅ポイント

検索

夢よかなえ。《セゾン》カード・UCカード  
永久不滅ポイント

SAISON  
CARD  
INTERNATIONAL  
UC